



久谷

ふるさと
歴史とくらしが
共存するまち

MAP

発行者：久谷地区まちづくり協議会
発行日：2021年3月



- 国指定文化財
- 愛媛県・松山市指定文化財
- 巡路道と道しるべ
- 伝説
- 神社・仏閣
- 史跡

1 渡部家住宅
わたなべけいしゅうたく
江戸末期に建てられた庄屋敷で国指定重要文化財。隠し階段やどんでん返しなどのカラクリがある。

5 クスノキ
くすのき
正八幡神社にある久谷最大最古の楠。根回り8.5m幹周6m樹高20m樹齢は300年以上と言われている。松山市天然記念物。

8 ハツ塚群集古墳
やつづかぐんしゅうこふん
恵原町と西野町の境にある8基の群集古墳。横式石室と推察され古墳時代終末と考えられている。松山市史跡。

9 三坂峠
みさかとうげ
松山市街を一望できる、久万高原町と松山市久谷町の間にある峠。峠付近には子規や山崎の碑もある。地元住民に歌い継がれてきた「三坂馬子唄」が峠越えの厳しさを伝える。

10 鍋割坂
なべわりざか
三坂峠の中でも最も急峻なところ。江戸時代からの生き証人「石畳」が残っているところもある。

2 木造阿彌陀如来坐像
もくぞうあみだにょらいざざう
八坂寺の本尊。鎌倉末期又は南北朝初期の作品で、地方にはまれな文化財。愛媛県指定文化財。

3 宝篋印塔
ほうきょういんとう
八坂寺にあり馬耳形突起の部分に特徴がある。浄瑠璃寺・円福寺にもあるが八坂寺のものは鎌倉時代につくられたもの。松山市指定文化財。

4 層塔
そうとう
八坂寺にあり、石で三層、五層、七層、九層と重なる塔。鎌倉時代のもの。松山市指定文化財。

6 イブキビャクシン
いぶきびゃくしん
浄瑠璃寺境内に3本ある。最大のもので幹周が4.8m樹齢は600年以上と推定されている。松山市天然記念物。

7 葛掛五社神社社叢及び蛇の釜並びに龍王淵衝上断層
かつらかけごしゃじんじゃさそう
奥久谷にある鳥居のない珍しい神社。その社叢には幹周5mを超える巨木もある。蛇の釜また断層は神社より北側に位置している。松山市天然記念物。

13 網掛け石(くじら石)
あみかけいし
三坂峠の道路道の邪魔になっていた2個の巨石の1つ。弘法大師が運ぼうとして礎の道路道に転がらせた。

14 大黒座
だいこくざ
四国霊場第46番札所。浄瑠璃町にある寺院で和暦元年(708)年創建。本尊は兼宗如来。脇立ちとして日光・月光の二大菩薩がある。

25 正八幡神社
しょうはちまんじんじゃ
平安末期の延久2年(1070)に石清水八幡神社から神霊を迎えたとの創建。注連縄の石柱には秋山好古の書が、瓦葺の鳥居、樹齢300年以上と言われる松山市天然記念物クスノキも。

28 葛掛城跡
かつらかけじょうあと
奥久谷の東方に「城の台」と呼ばれる山が葛掛城と言われている。天正年間(1573-1592) 明神清兵衛が三坂方面一帯を見張っていた。南北15m東西7mが城跡として確認できる。

11 坂本屋
さかもとや
明治末期から大正初期に建てられた藩路宿。週末は、歩き道などをする人たちの接待所として賑わいを見せている。

12 馬頭観音像
ばとうかんのんざう
へんろ道沿いに複数ある。観音を馬頭の姿であらわしたもので人身馬頭で馬の頭を冠している。倒れた馬の姿を慰めるために作られた。馬や人の守護神として人々に広く信仰の対象となった。

16 八坂寺
やさかじ
四国霊場第47番札所。浄瑠璃町にある寺院で高野山金峰寺末寺。大宝元年(701)創建。本尊は愛媛県指定有形文化財の木造阿彌陀如来坐像。

17 文殊院
もんじゅいん
恵原町にある寺院で真言宗大本山醍醐三寶院末。宝物として衛門三郎由來記がある。本尊は地藏菩薩。

18 山口霊神
やまぐちれいしん
講談「松山騒動伊予八百屋狸」に書かれた陣神刑部(いぬがきょうぶ)をまつた祠(ほこら)。

19 月見大師
つきみだいし
その昔野宿していた巡路が、東の方向に立つ弘法大師の人影を見つけ拜んだ後に、丸い月の形をした石が残されており、その丸い石をご神体として堂を建てたと言われている。

20 生目神社
いきめじんじや
平原清が源氏の屋島の合戦に敗れ、自らの目を岩に打ちつけたが、目を患っていた人の病がそれを拝むことにより治ったことから生目神社として祀ったことがはじまりと言われています。

21 札始大師堂
ふだはじだいしどう
弘法大師が文殊菩薩の教えを実現するため建てた草庵。その草庵を拠点に近隣各地を托鉢してまわった。

22 道標
みちしるべ
愛媛県最古の道標。1685年頃のものと推定される。久谷地区にはこういった道標が26か所あるとされている。

23 八幡の金平狸
はちまんのきんぺいだぬき
伊予唯一の学舎で、読み書き算盤を得意とし、さらに温和な性格の狸の代表。松山一の美女狸のお神主と夫婦であるとされている。

24 大宮八幡神社
おみやまはちまんじんじゃ
上野町唯一の学舎で、読み書き算盤を得意とし、さらに温和な性格の狸の代表。松山一の美女狸のお神主と夫婦であるとされている。

25 正八幡神社
しょうはちまんじんじゃ
平安末期の延久2年(1070)に石清水八幡神社から神霊を迎えたとの創建。注連縄の石柱には秋山好古の書が、瓦葺の鳥居、樹齢300年以上と言われる松山市天然記念物クスノキも。

26 土御門天王社
つちみかどてんのうしや
つづら川にある土御門上皇を祀る神社。承久の乱により土佐への配流を望んだ土御門上皇が地に滞り、阿波の地で37歳で没したことを知った里人が慰んで建てたとされている社。

27 荏原城跡
えはらじょうあと
戦国時代の城跡。河野氏の家臣平岡氏の居城で平岡城ともいわれ、豊臣秀吉の四国征伐により落城した。

28 葛掛城跡
かつらかけじょうあと
奥久谷の東方に「城の台」と呼ばれる山が葛掛城と言われている。天正年間(1573-1592) 明神清兵衛が三坂方面一帯を見張っていた。南北15m東西7mが城跡として確認できる。

29 真城跡
まじょうあと
真城台と言ふ名の山の頂上に築かれた城跡だが、山頂の東西に堀切が残っていることから推察される。森田守が岩を守っていたと言われている。

30 勝山城跡
かつらまじょうあと
御坂川と久谷川の間にある標高385mの円錐形の山。土佐の長宗我部が伊予に攻め込んでくるのを防ぐため築に見張りをしていた跡が残っている。

31 新張城跡
しんぱりじょうあと
鎌倉時代の地頭屋敷跡で、一応実戦ができる造りになっている。1230年代後醍醐天皇の一族土岐氏が赴任し、16世紀半ばまで居住したようである。

32 大友城(大堂城・大砥城)跡
おともじょうあと
荏原城主の平岡氏に属し戦の時は本城としての規模を備えていた。尉の城とならび、久万高原方面よりの侵入に備えていたのではと思われる。

33 尉之城跡
じょうのしろあと
土岐氏代々の山城。1230年代には作られていたと思われる。大友城とともに南の方面を守る重要な役割を担っていたと思われる。

- ★ 道標
- 常夜燈
- CVS コンビニエンスストア